



気仙沼市観光キャラクター
「海の子 ホヤぼーや」

気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

気仙沼市社協 <http://keshakyo.web.fc2.com/>
ボランティヤセンター <http://svc.miyagi.jp/dvc/hp/kesonnuma>

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3 (唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052
E-mail: karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番2
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467
E-mail: keshakyo@watch.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6 (本吉老人福祉センター内)
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241
E-mail: moto-sha@kind.ocn.ne.jp



赤岩五駄鱈友好野外親睦会
(災害公営入居者と地域住民の交流会バーベキュー)



幸町地区災害公営住宅入居者説明会・交流会

新しいコミュニティに向けて一歩ずつ



津谷街地区災害公営住宅入居者説明会・交流会



出張！鹿折情報サロンIN唐桑

災害公営住宅の入居が
始まっています。
新しい仲間、地域として、
交流の輪がひろがっています。

・社会福祉協議会とは？・

社会福祉法に基づきすべての都道府県・市町村に設置され、地域住民や社会福祉関係者の参加により、地域の福祉推進の中核としての役割を担い、さまざまな活動を行っている非営利の民間組織です。



切通地区災害公営住宅入居者説明会・交流会

新年度のご挨拶

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

会長 齊藤 典夫

本会の活動に對しまして、日頃からご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。昨年は災害公営住宅の第一号である市営南郷住宅への入居が始まるとともに、各地域に災害公営住宅の建設が進み順次入居されるなど、震災から五年が経過し復興事業も土地基盤づくりを始めとして生活基盤や産業基盤の再生が着実に推進されております。

本会といたしましては、地域福祉を推進する中核的な役割を担う民間団体として、震災による被災者の支援に最善の努力を傾注し、本会の地域福祉活動計画に基づいて地域住民、民生委員・児童委員、ボランティア等と連携して地域における生活課題解決のため、小地域ネットワーク活動を基盤として相談、支援体制の強化、地域包括ケア推進協議会のアクションプランの積極的な推進に取り組むこととしております。

今後も市民の皆様はじめ多くの関係者の深いご理解をいたしておりますことを忘れず、役職員一同引き続き皆様の信頼と期待に沿えますように地域と共に事業推進にさらに努めてまいります。皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

平成28年度 事業計画

東日本大震災から5年が経過し、被災された方々の災害公営住宅への入居や自立再建が本格化する一方、未だに多くの方々が応急仮設住宅等に入居されており、心のケア、見守り、コミュニティ構築支援といった生活再建へ向けての支援が求められています。

このような中、本会では地域福祉を推進する中核的な役割を担う民間福祉団体として、これまでの取り組みを踏まえ、「誰もがその人らしく暮らすことができる地域社会の実現」を目指し、従来からの地域福祉事業に加え、被災された方々の自立・復興支援事業にも力を入れた様々な活動を展開してまいります。

また、第2期「気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画」を推進し、行政や関係機関団体等との協働・連携をより一層強化し、住民参加による地域の見守りネットワークの充実に努め、地域福祉の推進を組織的に継続して進めてまいります。

【重点目標】

- 1、地域福祉の推進
- 2、介護・福祉活動の拠点の整備・活用
- 3、人材確保・育成
- 4、組織管理体制の強化
- 5、福祉サービス提供における「安心・安全」の確保
- 6、各地域における福祉サービスの強化

【主な事業内容】

- 1 法人運営事業
 - ・理事会、評議員会、監査会の開催
 - ・苦情解決責任者及び第三者委員の設置
- 2 地域福祉事業
 - ・地域福祉活動計画の推進
 - ・地区社協活動への支援
 - ・ふれあい相談センターの運営
 - ・広報紙の発行
 - ・本吉地域福祉まつりの開催
 - ・こどもまつりの開催
 - ・善意銀行の運営
- 3 ボランティアアセンターの運営
 - ・ボランティア相談、調整等事業
 - ・各種ボランティア講座の開催
- 4 福祉教育
 - ・敬老作文募集事業
 - ・福祉教育活動費補助金交付事業
- 5 資金貸付等事業
 - ・生活福祉資金・生活安定資金貸付事業
 - ・震災対応資金貸付事業
- 6 援護活動
 - ・火災による被災世帯の援護活動
- 7 生活支援・障害福祉事業
 - (1) 在宅障がい者福祉事業
 - ・日常生活自立支援事業



・視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業

(3)(2) 指定障害福祉サービス事業
地域生活支援事業

8 在宅福祉事業

(1) 在宅福祉事業
移送サービス事業
食事サービス事業
在宅ふれあい型交流事業
安否確認訪問サービス事業
老人福祉センターの指定管理
指定介護保険事業

9 市受託事業

・気仙沼地区応急仮設住宅入居者等サポートセンター運営事業
・気仙沼市「絆」再生事業
・地域包括支援センター運営事業
・大谷学童保育事業
・気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業

10 団体事務

・市民生委員・児童委員協議会
・本吉ブロック民生委員・児童委員協議会連絡協議会
・市共同募金委員会
・市ボランティア連絡会
・市老人クラブ連合会
・本吉町老人クラブ連合会
・本吉地区遺族会

平成28年度 資金収支予算書

(単位：円)

勘定科目		予算額	勘定科目		予算額		
事業活動による収支	収入	会費収入	7,958,000	施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4)	0
		寄付金収入	313,000		支出	固定資産取得支出	1,014,000
		経常経費補助金収入	58,053,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	2,467,000	
		受託金収入	261,794,000		施設整備等支出計(5)	3,481,000	
		貸付事業収入	484,000		施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		▲3,481,000
		事業収入	4,744,000	その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	66,256,000
		負担金収入	400,000		事業区分間繰入金収入	45,000	
	介護保険事業収入	437,175,000	拠点区分間繰入金収入		67,419,000		
	就労支援事業収入	8,488,000	サービス区分間繰入金収入		4,409,000		
	障害福祉サービス等事業収入	189,107,000	その他の活動による収入		1,355,000		
	受取利息配当金収入	48,000	その他の活動収入計(7)		139,484,000		
	その他の収入	2,875,000	支出		積立資産支出	6,141,000	
	事業活動収入計(1)		971,439,000	事業区分間繰入金支出	45,000		
	支出	人件費支出	743,967,000	拠点区分間繰入金支出	67,419,000		
事業費支出		150,164,000	サービス区分間繰入金支出	4,409,000			
事務費支出		74,466,000	その他の活動による支出	24,741,000			
就労支援事業支出		8,488,000	その他の活動支出計(8)		102,755,000		
貸付事業支出		500,000	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)		36,729,000		
助成金支出		6,270,000	予備費支出(10)		0		
負担金支出		365,000	当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)		18,590,000		
その他の支出	1,877,000	前期末支払資金残高(12)		230,647,905			
事業活動支出計(2)		986,097,000	当期末支払資金残高(11) + (12)		249,237,905		
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		▲14,658,000					



西地区社会福祉協議会の活動紹介



西地区社会福祉協議会は、西地区ボランティア「しあわせの会」と協力し合い活動しています。活動内容は敬老会等の交流行事が主となっていますが、西地区は住宅街や商店等を多く有する人口の多い地域です。南郷住宅や四反田住宅等、大きな災害公営住宅も建設され、現在は約4,000世帯が生活されています。同時に高齢化率も高く、77歳以上の方だけでも1,000人を超えます。年々増加す

る参加対象者に対して、今後行事の際の会場や開催方法をどのようにしていくのが課題となっています。また、西地区はほかの地域に先駆けて災害公営住宅が完成し、仮設住宅等から転入して来られた方が多く住まわれています。今後は、新しい住民の方々ともコミュニケーションを図り、住民の方々が安心・安全に暮らせる地域づくりを目指していきたいとのことでした。



西地区ボランティア「しあわせの会」の活動紹介

西地区ボランティア「しあわせの会」は、昭和56年に結成されたグループで、現在は27名の会員の方々がいきいきと、精力的に活動されています。

その活動内容は市内2箇所の福祉施設への奉仕活動や、高齢者世帯の方々との交流食事会、地域



行事への参加協力等、多岐に亘っています。

特に、春に行われる「新緑を愛でる会」と晩秋から初冬の頃に開催される「かぼちゃ粥をいただく会」は、地域の方々が開催を心待ちにされておられるようです。参加される方々は「しあわせの会」の皆さんが振舞われるご馳走を召し上がりながら、アトラクション、おしゃべりなどで楽しい時間を過ごされます。



災害公営住宅や防災集団移転の完成に伴い、これからどんどん新しいコミュニティが出来ていく状況にあります。これからの地域に皆さんに楽しく過ごしてもらいたいという思いを胸に、自分たちも笑顔で楽しんで活動していきたいとのことでした。





気仙沼市地域福祉推進フォーラムin西地区

～支えあいの地域福祉構築に向けて～

3月6日(日)、南郷コミュニティセンターにおいて気仙沼市社協主催による「気仙沼市地域福祉推進フォーラムin西地区」を開催し、約70名の方々にご来場を頂きました。

当日は「新たな支えあいの地域コミュニティづくり」をテーマに宮城県社会福祉協議会の復興支援アドバイザー本間照雄氏に講演を頂き、その後、自治会やボランティアとして活躍されている方々をパネリストにパネルディスカッションを行いました。



地域福祉推進フォーラム in 西地区
～支えあいの地域社会構築に向けて～

仮設住宅から災害公営住宅等へ移り住む方が増え、支援の形も被災者に対するものから新たなコミュニティを構築するものへと変化してきています。その中で活躍される方々が集い、これからの地域コミュニティづくりを行っていく上で有意義な意見交換が出来ました。

このフォーラムは、今後も市内各地域を会場に継続して開催する予定です。



東日本大震災5周年慰霊供養



後援団体のNPO法人秋田パドラーズ中村さんと南郷地区3自治会会長



気仙沼市南郷地区

東日本大震災5周年慰霊供養
法要が営まれました

東日本大震災より5年を迎えた3月11日(金)午後6時、気仙沼市南郷地区3自治会(南郷1区・2区・3区)主催による慰霊供養法要が、南郷住宅脇の気仙沼大川堤防にて営まれました。150の灯籠に火が灯され、地域が一体となり、故人を悼む法要が執り行われました。

秋田市横森五丁目町内会より寄贈のあつた灯籠70挺には、市内のおひさま幼稚園の年長児や地域住民が描いた絵や、亡くなられた方々へのメッセージ、復興への想いなどの言葉が添えられました。また竹灯籠80挺は、地域自治会役員の手づくりによるもので、追悼の気持ちが込められています。

静かな空間に灯籠の火が揺らぎ、一人ひとりが様々な想いをはせる時間となりました。

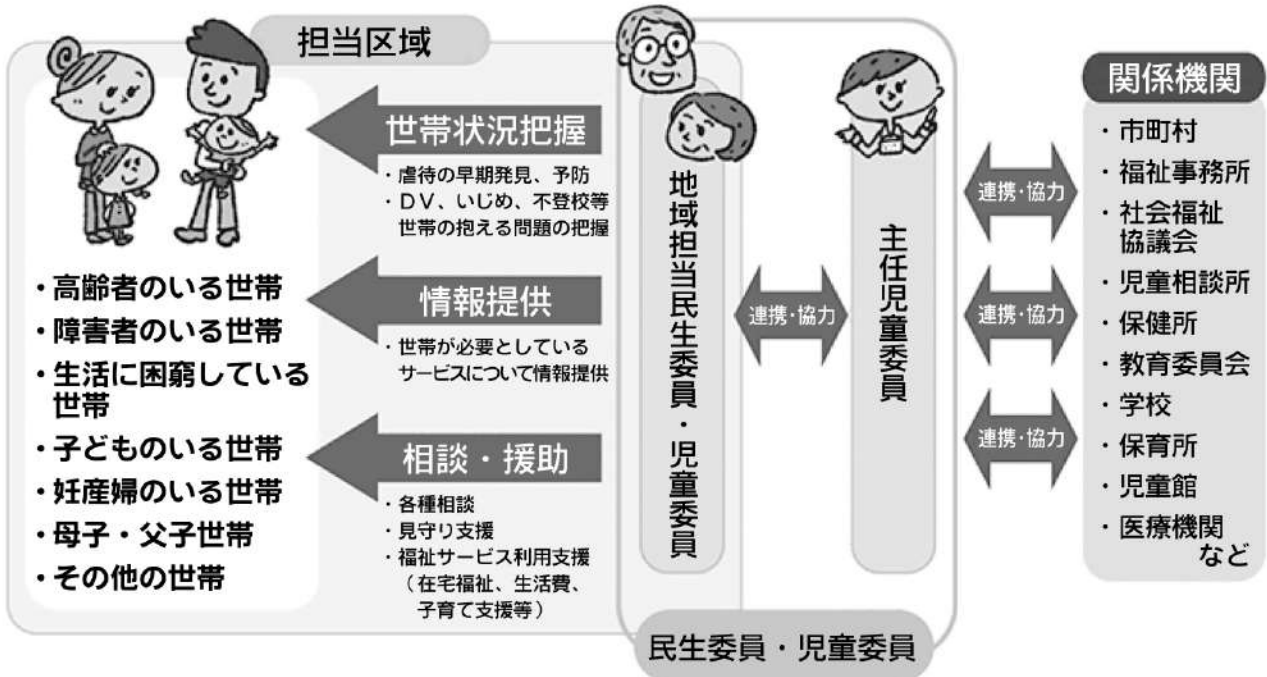


ご存じですか？地域の身近な相談相手 「民生委員・児童委員」



少子化や核家族化によって地域のつながりが薄れる中、高齢者や障害のある方、子育てや介護をしている方などが、周囲に相談できず孤立してしまうケースが増えていきます。そこで、地域の身近な相談相手として、必要な支援を行うのが「民生委員・児童委員」の存在です。誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、様々な活動をしている「民生委員・児童委員」についてぜひ知っていただき、活動へのご理解とご協力をお願いします。

民生委員・児童委員、主任児童委員の活動について



リフト付きワゴン車を 貸し出します

外出先への移動困難な方に対し、リフト付きワゴン車の貸し出しを行っています。

- 【対象】** 寝たきり又は車いすで生活する方で、交通手段の確保が困難な状況や他の支援や制度の利用ができない状況の方
- 【利用料】** 無料（ただし、返却の際は燃料を満杯にする）
- 【利用時間】** 月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時
最大3日間レンタル可能
- 【お問合せ】** 気仙沼市社会福祉協議会
電話 22-0709

移送サービス 運転ボランティア募集

寝たきり又は車いすで生活する方などをリフト付きワゴン車（日産キャラバン）で目的地まで移送を行うボランティアです。

- ◆ 移送の範囲は原則として気仙沼市内です。車両への乗降に係るリフトの操作等を行います。利用者への直接的な介助等は行いません。
- ◆ 運転手付きでの利用希望があった場合に半日から1日の活動となります。

お問合せ先：気仙沼市社会福祉協議会

電話 22-0709



平成27年度 歳末たすけあい募金実績報告

昨年度、気仙沼市内において3,897,119円ものご協力をいただきました。募金に協力していただいた自治会・振興会をはじめ、多くの団体、市民の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

気仙沼市共同募金委員会 会長 小野寺 良 男



27年度の配分実績

平成27年度に皆さまからお預かりした歳末たすけあい募金は、気仙沼市からの補助金2,900,000円と併せて、以下のように配分が決定され、福祉のまちづくりのために役立てられています。

**在宅長期寝たきり者等
要介護世帯へ**

2,312,000円



長期入院者へ

1,025,000円

**地域福祉活動助成
(地区社会福祉協議会)**

1,600,000円

地区社協及び同会構成の自治会・地区ボランティアクラブ等が実施する子どもから高齢者まで多世代が一同に交流できる事業など、地域の実情に合わせ課題解消につながるような取り組みがされるよう配分

**障害福祉施設及び事業所等
活動助成**

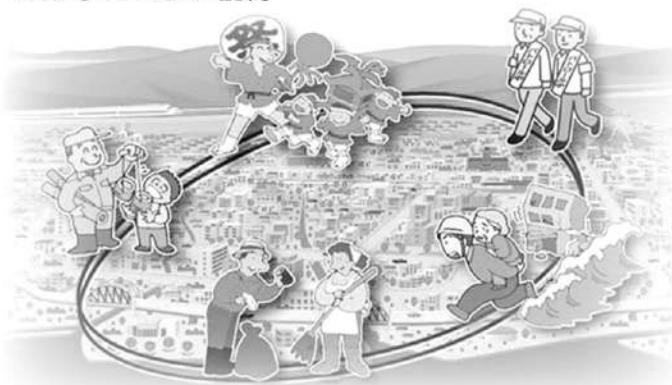
570,000円

市内の障害者福祉施設や児童養護施設等が、地域住民やボランティア等との協働により実施する事業及び施設利用者同士の交流の機会として実施する事業へ配分

**新入学児童への安心・安全
の支援**

600,000円

市内の市立小学校へ新しく入学する児童に対して、安心・安全な登下校等にかかる支援として配分（防犯ブザー）



**小地域福祉ネットワーク活動推進のための
事業に対して配分**

700,000円

住民どうしの見守り活動など、要支援者への地域での取り組みに対して配分





弁護士による 法律相談について

本会で実施している生活相談事業の一つとして、弁護士による無料法律相談を次のとおり実施いたします。

- 【とき】平成28年5月19日(木)
10:00~15:00
- 【ところ】気仙沼市社会福祉協議会
(東新城二丁目1-2)
- 【申込み】22-0709(代)

備品の貸出を行います

本会では地域や学校等で福祉活動、交流活動を実施する際に福祉用具やレクリエーション教材等の貸出を行っています。

借用をご希望の方はお問合せください。

- 貸出物品(一例) ・車イス ・高齢者疑似体験セット
・レクリエーション用品 ・ハンディカラオケ
・綿あめ機 ・折りたたみテント 等

お申込み・お問合せ

気仙沼市社会福祉協議会 電話 22-0709

老人福祉センター「福寿荘」介護予防事業

健康貯筋トク・とく講座 XII

参加者募集!

対象者: 60歳以上の方ならどなたでも
参加費: 100円

お申込み: 老人福祉センター「福寿荘」
お問合せ: 電話23-1022

※会場や持ち物なども、お申込みの際にご確認ください。

1年ごとに歳は増えるものの、体力・筋力は減るばかり。そこで、老人福祉センター「福寿荘」では、1年間を通して健康貯筋の講座を開催しています。

4月から6月までの講座内容をお知らせします。

開催予定日	内容	講師
4/1・8・15・22 (金曜日)	太極拳 (10:30~12:00)	星野 一子 先生 (気仙沼武術太極拳協会)
5/12・19・26 6/2 (木曜日)	レクリエーションダンス (10:30~12:00)	加藤 一恵 先生 (日本フォークダンス連盟指導員)
6/9・16・23・30 (木曜日)	シニア向けエアロビ (10:30~12:00)	畠山 洋子 先生 (ヘルスケア・ワーカー)

生活福祉資金 貸付制度のご案内

本会では、低所得者世帯(東日本大震災での被災世帯も含まれます)、障がい者世帯及び高齢者世帯に対し、宮城県社会福祉協議会の委託により、様々な利用目的に応じた資金の貸付相談を行っています。

無利子または低利子での貸付と必要な相談支援により、経済的自立や生活意欲の助長促進を図ることを目的とした制度となっています。

まずはお気軽に本会または地区の民生委員児童委員にお問合せください。

〈進学に伴う学費や就職・転居関連資金についてのご相談もお受けしております〉

〈お申込みにあたっては保証人が必要となります。〉

■ お申込み
お問合せ **気仙沼市社会福祉協議会**
(市内東新城2-1-2)

専用(直通)電話: 080-5949-7563
(祝日を除く月~金曜日(午前9時~午後5時))

笑顔で再会



3月13日(日)、「手話講座—フォローアップ編—」を開催。

当日は市内の手話奉仕員や手話サークルの皆さん、また聴覚に障害のある方等22人の参加をいただきました。みみサボみやぎ(県聴覚障害者情報センター)より講師を招き、業務内容や東日本大震災後の聴覚障害者に対する支援等の話を伺い、その後交流会を行いました。

震災後、初めて顔を合わせる方もおられ、再会を喜び合いお喋りも花が咲き、楽しい時間となりました。

(本会では、平成28年度も手話講座や交流会を開催してまいります。)

